

## 検定試験の第三者評価 【簡易版】総括評価 評価結果

1. 対象検定試験 世界遺産検定
2. 実施運営団体 特定非営利活動法人 世界遺産アカデミー
3. 受審有効期間 2026年3月まで有効とする
4. 評価講評

### ●大項目Ⅰ 検定試験の実施主体に関する事項

検定試験の目的や検定の実施主体などの情報が、情報公開チェックリストに基づき HP 等に適切に公表されている。新型コロナウイルス感染症対策に関しては、HP のお知らせ等で案内されている。個人情報保護方針が公開されており、検定試験運営委託会社が P マークを取得するなど、個人情報保護が徹底されている。組織体制や各種規程は概ね整備され検定試験実施団体として適正に運営されている。継続的に自己評価の実施及び総括評価を受審するなど、PDCA サイクルに基づき運営改善に努めている。

### ●大項目Ⅱ 検定試験の実施に関する事項

検定試験の内容は学習指導要領に準拠しており、検定試験で測る具体的な知識・技能とその水準については HP 等に示されている。試験運営に関するマニュアルは適切に整備され、適正な試験運営が行われている。準会場で検定試験を実施する際には、検定日ごとに異なる問題を用意するなど公開会場で開催される検定試験との公平性・公正性に関する配慮がなされている。

### ●大項目Ⅲ 検定試験の試験問題に関する事項

試験問題は、級ごとに<sup>1</sup>出題範囲が公式テキストに沿って定められており、作問部会によって適正な問題作成がなされている。CBT 試験と PBT 試験の問題はすべて同じ審査基準に基づき同じ体制で作成され公平性が保たれている。試験問題の分野及び各分野の配点比率は HP で公開されている。審査・採点の基準は明確に定められ、また、論述式試験は複数の評価者による判定を実施するなど、公平性・公正性に配慮している。

### ●大項目Ⅳ 継続的な学習支援・検定試験の活用促進

受検者の参考として、勉強方法など受検者の声が、学生・社会人別に豊富に HP に公開されている。学生・社会人・生涯学習などそれぞれの視点で検定の活用事例が仕事や趣味など具体的に説明されており学習・受検意欲の向上に資するものとなっている。学習の参考に、過去の試験問題や正答が級ごとに公開されており、学習のポイントや学習方法について説明がなされている。

5. 達成状況

大項目	該当項目数	達成項目数	達成率
1. 検定試験の実施主体に関する事項	9	9	100%
2. 検定試験の実施に関する事項	21	21	100%
3. 検定試験の試験問題に関する事項	6	6	100%
4. 継続的な学習支援・検定試験の活用促進	6	6	100%
合計	42	42	100%